

# まち地域のこえ広場 No.7

町への思い、地域への思い、議会への思いを届けます。

## 伊与喜小学校を誰もが集まれる居場所にしたい！

11年前に京都の北山から引越して来まして、70歳になり、自分が動けるうちに、外に出て土いじりがしたいと、元の会社の先輩の紹介で、ココへ来ました。友人達の力も借りながら、田んぼや畑をしています。私の家は、土間があり靴を履いたまま移動できるので、若い人も高齢者も、皆が集まって来て、お茶やお喋りをする場となっています。この地域の人は、男女を問わず、温かい人ばかりで、独居老人の見守り隊もいて、私の安否確認も兼ねて集まってくれています。私には最高の場所です。

昨年12月に休校中の伊与喜小学校で文化祭が開かれた時には、いつもの仲良しグループでペンギンやゾウの人形を作り、当日は、ランチルームでお茶と焼芋のコーナーもしました。これからも、この学校がお茶を飲みながら、お喋りや身体を動かしたり、ミシンでの物作りなど、お互いに元気で暮らせる、誰でもが集まれる居場所になったらと願っています。



伊与喜小で開催された文化祭の準備をする 末松 すみ子さん(右側奥)  
(81歳、伊与喜在住) (令和6年11月)

## ～議員のなり手不足を考える～



喜多 新さん  
(45歳、入野在住)

議員の定数割れと無投票がもたらす地方自治の弱体化…。その裏側にある核心的要因は、子育て世代を含めた若年層の政治参画に高いハードルがあるためだ。その最たる要因は、議員報酬の低さだろう。「若者の活力なくして地域の未来はなし」加えて、「世代を超えた交流なくして地域の発展はなし」との視点に立てば、地域の将来を担う若者の政治参画は喫緊の課題である。

黒潮町議会に私なりの提言を示せば、「議員定数2減、及び報酬増額の条例改正」だ。本町と比較して人口も面積も大きい土佐清水市と室戸市が定数12で運営できている事実を鑑みれば、行政改革の観点からも検討に値する。

特定の世代の考え方で2つのうち「マシなほう」を選ぶか、幅広い世代で複数から「ベスト」を選ぶか。議会の意思決定の在り方も時代に応じた柔軟性のある発想が不可欠ではないか。二元代表制の趣旨を担保するためにも、黒潮町議会には生産的かつ迅速な議論を期待したい。

### 編集後記

令和7年、巳年を迎えました。脱皮をする蛇のイメージから巳年は新しいことが始まる年になると言われます。

また、今年は昭和でいうと百年になることから、一つの区切り目で、良い転換期になればと願うところです。

12月議会で、議員のなり手不足についての調査報告が議会運営委員会から提出され、これから議会で、いろいろな議論が始まると思われます。

今年も皆さんのご理解とご協力、並びにご意見をよろしくお願い致します。

(小松孝年)

### 議会広報常任委員会

|      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 宮川 徳光 |
| 副委員長 | 小松 孝年 |
| 委員   | 奥本 哲也 |
| 同    | 濱村 美香 |
| 同    | 水野 佐知 |
| 同    | 山本 牧夫 |

黒潮町 議会だより・議事録は、黒潮町ホームページよりご覧になれます。

<http://www.town.kuroshio.lg.jp/>→黒潮町の紹介→議会→議会だより→バックナンバー

■発行人 高知県黒潮町議会  
■編集 黒潮町議会広報常任委員会  
■住所 高知県幡多郡黒潮町入野 5893 TEL(0880)43-2111(代)・(0880)43-2831(直)

■発行日 令和7年2月1日